

KIRAKIRA

PRESS

Magazine of announcing to public of Shuji Kira who makes Oita energetic

吉良州司の「きらきら広報」
www.kirashuji.com

2007.06
Vol.8

発行／吉良州司と元気な大分を創る会

参院選特集



参議院選挙への思い

眞相～参院選候補擁立の舞台裏～

矢野大和のご紹介

矢野大和の政治への熱い思い

「一貫正義」の男・三輪信昭氏を紹介します！

今年も麻生太郎外相とともに米国へ～外交安全保障など国の根幹政策は党派を超えた取組み～

『眞の豊かさ』を求めて～元世界銀行副総裁・西水美恵子さんとの出会い～



01

04

07

09

11

12

13

新世紀日本の創造

参議院選候補擁立の裏舞台

「今日は社民の順番なのに民主党が強引に候補を擁立した」というのは本当か?

民主・社民間で、将来に亘つて次は民主、次は社民というような順番で候補を擁立するという取り決めは一切ありません。3年前までの2回の選挙では交渉に支援をした経緯はありますが、少なくとも今回や将来の取り決めは存在しません。

もっと早い段階から民主党の候補擁立に動いたかったのですが、現在の民主党本部が進める「全国的な野党共闘」の方針があつたために、民主党大分県連としては候補擁立を自重してきました。一方で社民党の意向は「今回は6年前に議席の奪還選挙で、前回は民主党候補を推したので、今回は自分達の番だ」というものです。順番の取り決めはないのですが、全国的な野党共闘と大分の過去の事情を勘案すれば、社民党の意向を尊重しなければならないと思い自重していたのです。大分のことは私としても責任が持てますが、他の都道府県のことまで責任が持てる立場にはありません。その為

参院選 候補擁立の無駄台裏

は「民主党が協力できる候補」で「勝てる候補」を社民党が出していくかどうか見守る方針としました。もし、社民党が「民主も協力できる候補」且つ「勝てる候補」を出してきたならば、協力しなければならないと考えていました。

診をしてきた時、「民主党として勝つことが極めて難しいと総合的に判断せざるを得ない。公表すれば、公の場で断らざるを得ない。そうすれば、ご本人の名誉に傷がつくので、何としても公表は控えてほしい。公表しても民主党としては協力できない」と申し入れや、(合意前に公表しない)取り決めを無視して公表してしまったことはまことに残念でなりません。

「今日は社民の順番なのに民主党が強引に候補を擁立した」というのは本当か?

民主・社民間で、将来に亘つて次は民主、次は社民というような順番で候補を擁立するという取り決めは一切ありません。3年前

までの2回の選挙では交渉に支援をした経緯はありますが、少なくとも今回や将来の取り決めは存在しません。

もつと早い段階から民主党の候補擁立に動いたかったのですが、現在の民主党本部が進める「全国的な野党共闘」の方針があつたために、民主党大分県連としては候補擁立を自重してきました。一方で社民党の意向は「今回は6年前に議席の奪還選挙で、前回は民主党候補を推したので、今回は自分達の番だ」というものです。順番の取り決めはないのですが、全国的な野党共闘と大分の過去の事情を勘案すれば、社民党の意向を尊重しなければならないと思い自重していたのです。大分のことは私としても責任が持てますが、他の都道府県のことまで責任が持てる立場にはありません。その為

”社民党の公表は見切り発車”

元々、社民党との水面下の交渉、調整の中で、「お互いが合意するまで、候補者の公表はしない」という取り決めになっていました。それ故、社民党が現在の候補の打

つたのは、いくつかの明確な理由があります。その理由をはつきりと説明すれば多くの有権者に私たちの判断を理解してもらえると思います。しかし、本人の名誉を傷つけるわけにはいきませんので「総合的判断」とだけ公表しています。また、私たちは、「民主党も応援できて、勝てる候補を新たに探すのであれば、それを待つ」とも申し入れておりました。社民党やご本人は「勝てる、勝てないは有権者が判断すること。(民主党の言い方は)失礼だ」と言っているようですが、民主党の「公表しても協力はできない。ご本人の名誉の為に、合意ができる前の公表は避けてほしい」という申入れや、(合意前に公表しない)取り決めを無視して公表してしまったことはまことに残念でなりません。

しがらみのない草の根選挙に再挑戦!



笑って元気な大分、日本を!

現在の日本の政治に課せられた最大の課題は、「国全体を覆う不安補者選考委員会の候補者探しにおいて、矢野大和さんは当初からお名前が挙がっていましたが、まず

前段階で「無所属で出馬し、吉良さんのような、大きな組織に頼らない草の根型選挙で闘いたい」との申し入れがあったのです。生活動者優先の政治を実現していく為には、しがらみとは一線を画した草の根選挙で勝ちあがるしか方法はありません。矢野大和さんとともに、選挙革命に再挑戦したいと思っています。



る社会へと、この国を根底から創り変えること」だと思います。日本のふるさとに残る古きよき日本の心を取り戻し、誰もが安心して暮らせやかでも幸せを感じ、ゆっくりとくつろげる場所があり、笑って元気な日々当たり前のように送れています。

吉良司
元気な日本を創つていこうではありませんか。地方の元気が国全體の元気です。ふるさとの暖かい心と人情を国政へ。暖かい人情、小さな幸せや笑いに満ち溢れた「幸せ一杯の元気な日本」を矢野大和さんと一緒に創つていこうではありませんか!

しがらみのない草の根選挙に再挑戦!! 選挙革命第一弾

矢野大和さんの話に共鳴感動した方々は、党派を超えて県下全域に広がっていますので、私が理想とし、実践してきた草の根型選挙を開催することができます。実は矢野大和さん自身が私の著書「選挙革命～マンモスに立ち向かった草の根の闘い～」に感動してくれており、本人が出馬受諾をしてくれた時、(小沢一郎声明が発表される前の段階で)「無所属で出馬し、吉良さんのような、大きな組織に頼らない草の根型選挙で闘いたい」との申し入れがあったのです。生



参院選 候補擁立の舞台裏

真実の相

民主と社民の間には、選挙協力に關わる認識の違いもあります。社民は「大分版三者共闘（連合）を軸に民主・社民の三者が協力」が成立すれば勝てる」と主張しますが、民主は「反自民の三者共闘では勝てない。（利権とは一線を画した）健全な保守層や広範な無党派層を取り込める候補でなければ勝てない」という認識です。民衆が「誰々を推してくれ」と叫んでも、潜在的民主党支持者の全てがその人を支援してくれるわけではありません。民主党は「健全な政治が行われる為には政権交代が必要だ。政権交代があつてこそ、政党間に競争原理が働き、お互いが切磋琢磨する緊張感のある政治、国民の為の政治が実現できる。その為には、自民党に代わって政権を担える健全な政党が必要。民主党がそのような政党に育つてほしい」と願う方々の期待感によって票を戴いている政党です。「いい候補」と「国民の期待に応える政策」を有権者に提示できてはじめて潜在的民主党支持者から票を入れてもらえるのが必要。民主党がそのような政党に育つてほしい」と願う方々の期待感によって票を戴いている政党です。「いい候補」と「国民の期待に応える政策」を有権者に提示できてはじめて潜在的民主党支持者から票を入れてもらえるのが必要。民主党がそのような政党に育つてほしい」と願う方々の期待感によって票を戴いている政党です。



この判断は、民主党大分県連としては決して満足のいくものではありませんが、野党共闘で参院与党を過半数割れに追い込むという目的・手段を明確にした小沢一郎代表の立場を考えると、社民党に最大限配慮し全国的な共闘を壞さず、民主党大分の現場の手足までは縛らないというぎりぎり

する人を拘束することはできない」というものでした。

この判断は、民主党大分県連としては決して満足のいくものではありませんが、野党共闘で参院与党を過半数割れに追い込むという目的・手段を明確にした小沢一郎代表の立場を考えると、社民

「私(わたくし)」を捨てての戦い

**民主党と社民党的な
二者協力に關わる
認識の違い**

民主と社民の間には、選挙協力に關わる認識の違いもあります。社民は「大分版三者共闘（連合）を軸に民主・社民の三者が協力」が成立すれば勝てる」と主張しますが、民主は「反自民の三者共闘では勝てない。（利権とは一線を画した）健全な保守層や広範な無党派層を取り込める候補でなければ勝てない」という認識です。民衆が「誰々を推してくれ」と叫んでも、潜在的民主党支持者の全てがその人を支援してくれるわけではありません。民主党は「健全な政治が行われる為には政権交代が必要だ。政権交代があつてこそ、政党間に競争原理が働き、お互いが切磋琢磨する緊張感のある政治、国民の為の政治が実現できる。その為には、自民党に代わって政権を担える健全な政党が必要。民主党がそのような政党に育つてほしい」と願う方々の期待感によって票を戴いている政党です。「いい候補」と「国民の期待に応える政策」を有権者に提示できてはじめて潜在的民主党支持者から票を入れてもらえるのが必要。民主党がそのような政党に育つてほしい」と願う方々の期待感によって票を戴いている政党です。

判断はしない。社民党本部には大分の難しさを何とか理解してもらい、分裂選挙の了承を取り付けた。そして全国に影響させないと約束を取り付ける。その上で公認ではなく推薦する」という結論を期待していました。しかし下された判断は「大分選挙区においては、民主の公認推薦候補は立てない。但し、立候補する人、それを応援する人を拘束することはできない」というものでした。

この判断は、民主党大分県連としては決して満足のいくものではありませんが、野党共闘で参院与党を過半数割れに追い込むという目的・手段を明確にした小沢一郎代表の立場を考えると、社民

りの判断だったと思います。このことはよく理解できます。しかし、この判断を聞いた矢野大和さんや矢野大和さんの今後を心配する親族、友人達にしてみれば「民主党がハシゴをはずした」と思い、大きなショックを受けるのは当然です。その不安、不満を取去り、必ず勝つという自信を持つてもらう為には「どんなことがあっても矢野大和と生死を共にし、必ず勝つ」という民主党県連としての強い意志を示す必要がありました。私は「万が一の時は『離党』してでも矢野大和さんと生死を共にする」と本人に伝えておりました。幸い、私の単独行動にはならず、民主党県連の仲間達も、「矢野大和さん、吉良州司代表とともに自分達も戦う」と誓ってくれましたので、出馬記者会見では「民主党県連が全面的に支援していく」と

と力強く宣言することもできました。今回の一連の民主党県連の判断・行動に対する強い反発と圧力、民主党本部との葛藤の中、それでも必ず勝たなければならないという使命感の下、さすがの私もベルトの長さを短くするほど瘦せていました。しかし、私は天に誓つて「私(わたくし)なく、ひたすら日本と大分のことを思つての対応、戻いですから、精神的には全く動じることはありません。しかし、「次のあなた(吉良)の選挙に影響するぞ!」との圧力は残念でなりません。なぜなら、私は社民の各級議員の方々は人物的に立派で尊敬できる方々が多いと思つてゐるし、教員や役所の職員など、本来民主党支持ながら、私と親しい、また私が敬愛する仲間たちがたくさんいるからです。しかし、私はこの圧力に對して次のように応えていきます。「誰も人から嫌われたくない。自分の選挙の有利・不利だけを考えたら、何もしないほうが良いのかもしない。しかし、自分は、『この参



であつて、「いい候補」と「いい政策」のどちらが欠けても有権者の理解は得られず、選挙には勝てません。民主党の一番大きな支援者は「民主党支持層」ではなく「政権交代期待層」なのだと謙虚さが必要だと思います。

我々が自信を持つて推薦できる候補でなければ、結局、政権交代期待層である潜在的民主党支持者には推してもらえません。「勝てる候補」という意味で疑問を持つ社民党候補を推してくれとお願いしても、この政権交代期待層

が付いてくれないことを自覚しているからこそ、三者共闘が成立しても勝てるわけではないと主張しているのです。

が付いてくれないことを自覚しているからこそ、三者共闘が成立しても勝てるわけではないと主張しているのです。

が付いてくれないことを自覚しているからこそ、三者共闘が成立して勝てるわけではないと主張しているのです。

小沢一郎代表会見の衝撃

小沢一郎代表には、事細かに情勢を報告していましたので、「社民党候補に一本化」というような経緯は新聞・TVで報道されています。

が付いてくれないことを自覚しているからこそ、三者共闘が成立して勝てるわけではないと主張しているのです。

が付いてくれないことを自覚しているからこそ、三者共闘が成立して勝てるわけではないと主張しているのです。

院選大分選挙区で必ず勝つ』という目的を達成し、責任を果たすことしか考えていない。自分の次の選挙などという私(わたくし)は捨てている」と。

「変革の時機は、何らかの既得権がある為に現状を変えたくない」という組織・団体、個人の大規模な抵抗にあうのは必定です。それだけに、選挙における支持拡大、または嫌われないことだけを意識するならば、そのような組織・団体が気に入らないであろう変革を唱えるには大変な勇気が要ります。しかし、私は、ひたすら『い日本を創つてくれ』と願う草の根支援者の方々の支援のお陰で、誰はばかることなく発言し、行動することができます」と私は自著『選挙革命』の中で書いています。

今回の参院選は、これまでの私の選挙に引き続き、「既得権益者重視のしがらみ政治や古い殻を破ろう」としない政治土壤」と決別し、かけがえのない子孫の為、頑張る人がきちんと報われる為、新しい時代の『眞に豊かな日本』を創る為の戦いなのです。

みなさん、お力を貸して下さい。

これまで以上の力強いご支援をお願い申し上げます。

Taiwa Yano

<http://www.yanotaiwa.jp> 矢野大和ホームページ



大和の『笑って元気な国づくり』

笑い声が聞こえ、みんなが日々小さな幸せを感じる
ごく普通の社会を取り戻したい！

そんな想いを持って、これから政治の道を歩き始めようと思っています。「ふるさとの温かい心と人情を国政へ」「地方の元気が国の元気」です。皆さん、私と一緒に、人情、幸せ、笑いに満ち溢れた「幸せ一杯の元気な日本」を創りましょう！



政治信条

Political gospel

この世に捨てる ものはない (物も人も大切です)

誰もが必要とされて
この世に生まれてきている
お年寄りを大切にしましょう
(そしてお年寄りも社会貢献を)
山や海、自然を大切にしましょう
(酸素をいっぱい作りましょう)

ふるさとの心と 人情を取り戻す

人間の幸福は、小さな幸せの積み重ね
(そのためには少しがまんすることも必要)
ふるさとが、田舎が古き良き日本の心と
人情を支えている
(これからは酸素をお金で買う
時代が来る)

本当のことが 言える政治

応援をしてくれたから見返りをする
“しがらみ政治”にさようななら
批判を恐れず言わなければ
ならない事は言う
(国民もしなければいけないことがある)
わかりやすい政治

大和の政策

Taiwa's policy

1 地方が元気な国づくりに 奔走します

霞ヶ関が主役の国から「地方が主役」の国へ
徹底した地域主権により真に豊かな国づくり

2 夢と希望が持てる教育を 取り戻します

日本の財産は人と緑です。田舎や弱い立場の人を思いやれる
世界で通用する人材を地域が一丸となって育てましょう

3 安心できる社会保障制度を 創設します

どんな地域に住んでいても、どんな立場であっても安心した
生活が送れる国へ

4 環境を最優先する国にします

地球があって、自然があって人間が生きられる。
環境の大切さを世界に向けて発信。
環境を大切にする国や地域を守ります

5 政治への信頼を取り戻し、 税金の無駄遣いをなくします

政党交付金、政治資金の使途の透明化

6 参議院のあり方、 役割を見直します

衆議院のカーボンコピーを改め、定数を減らします

7 安全な日本を取り戻します

安心して暮らせる社会環境の回復を急ぎます



これまで、県下全域はもとより全国で口演に矢野大和を呼んでいた
だいた方は各界各層と多岐に亘り、
地方の置かれている現実をお聴き
し、また目で見てきました。矢野大
和は、地方を知る人間として県民
の選択肢となり、地方を再生して
いくためにも机上の論理ではなく
現場主義(感覚)を大切に、”地方が
主役”の政治を目指すことなどを
お話ししました。



矢野大和(やのたいわ)・プロフィール

昭和31(1956)年 7月7日宇目町生まれ(鷹島屋神社の社家の長男。神職)
宇目町立小野市小学校卒、小野市中学校卒
大分県立佐伯鶴城高校卒(高校内に「落語研究会発足」)
国学院大学経済学科卒
宇目町職員として採用(企画課・教育委員会・税務課・企画開発課・企画商工課)
企画開発課で「株式会社うめ」の立ち上げに携わる
「株式会社うめ」(レストハウス「うめりあ」)に店長として派遣。「しじラーメン」が大
当たりし、初年度から黒字経営
宇目町観光大使に任命され、宇目町、大
分県をPRする
佐伯市、南海部郡9市町村が合併。佐伯市職員となる(秘書広報課広報付係長、
観光課観光付係長)。佐伯市観光大使となる
平成18(2006)年 観光課観光広報係長兼佐伯市観光大使
平成19(2007)年 4月30日佐伯市役所を依頼退職し、政
治を志す

その他活動歴

レギュラー出演番組 NHK「おはようTELふるさとラジオ」、OBS「土曜の朝はビ・フレッシュ」、NHK「大分しんけん海賊船」、佐伯ケーブルテレビ「大和と対話」、FM大分「ハイカラ食堂」

受賞 「大分県一村一品努力賞」、「大分合同新聞文化特別賞」、「サンツリー地域文化賞」(県南落語組合事務局長を10年間務め県南落語組合として)

著書 「笑って元気」ハッスル公務員口演記
「続・笑って元気」一期一笑の口演記

元佐伯市観光大使

矢野 大和

やの
たいわ



5月10日(木)、矢野大和は佐伯市内のホテル金水苑で記者会見し、
7月22日に施行される参議院選舉に大分選舉区から出馬要請を受け検討する段階から、出馬することを正式に表明しました。
これまで、民主党大分県連代表の吉良州司衆議院議員から出馬要請を抱いており、そのことは吉良州司氏にも当初からお話ししておりました。

5月10日(木)、矢野大和は佐伯市内のホテル金水苑で記者会見し、
7月22日に施行される参議院選舉に大分選舉区から出馬要請を受け検討する段階から、出馬することを正式に表明しました。



矢野 大和
Taiwa
Yano

日本の古文書 故郷(「ふるやど」) を蘇(よみが)えの政治

一時間電車に乗ればすかり田園風景へと変わります。日本中、どこでも自然の豊かさに驚かされます。

地方の小さな集落で口演をした後には、区長さんや女性会の会長さ

は、自分にとつてイヤなことでも、みんなにとつて大事なことはしなければならない時代になつていま
す。本当のこと、真に日本の将来のために必要なことを言つたためには、選挙での姿勢が重要です。

基本的に、これから先の日本の現実は、「楽」ではなく「苦」のことが多いと思つています。国、地方の抱える膨大な財政赤字の再建、年金制度の改革、少子化への対応などなど、今、やらなければ我々の子孫は更なる「苦」を味わうことがたくさんあります。それは日本人全員が気付いていることです。私は、それらの深刻で重大な問題を改善していくためにも耳の痛いことから話していくこうと考えています。

が何を武器に世界と渡り合っていくのかを分かりやすく指示示さなければなりません。そうすれば、自

世界の中の日本を語
れる人は、日本の労働
時間や賃金のことを見
たときに、日本人は、日本
の労働時間が長い、日本
の賃金が低いなどと感じ
て働いているのです。

が報われる世の中に」
多分ヨーロッパの方へも同じ
はずです。私たちには往々
にして一部分を見てす
べてと思つてしまふく
せがあり、そういう部分
は直さなければいけな

汗を流さない人が一瞬にして大金持ちになるという映像がマスコミで繰り返し流されています。そんな中では、地道に働くのはイヤだという気持ちも湧いてくるでしょう。しかし、一攫千金を獲得する人も、そこに至るまでには、大

が報われる政治

The image features a man in a dark suit and glasses, smiling and holding a silver microphone. To his left is a large, bold title composed of green, textured, blocky letters. The title reads '政治への熱い思い' (Hot thoughts for politics). Below the main title, smaller orange text reads '政治家にかける'.

ここでは、矢野大和さんの「政治への熱い思い」として、ホームページ(<http://www.yanotaiwa.jp>)でも発表している文章の一部をご紹介させていただきます。矢野さんは、5つのことを挙げていますが、その中でも特に矢野さんのやわらかさの中にも「強さ」が出ている2番「努力している人が報われる政治」、3番「本当のことが言える政治」と5番「日本の古き良き故郷を蘇らせる政治」の3つを要約したものをご紹介します。ぜひ皆さん、矢野さんの思いの一端をご覧ください。

矢野大和が目指す5のこと

- 矢野大和が目指す5のこと**

 - 1 わかりやすい政治**
(政治は一部の人が行なっているのではなく国民のもの)
 - 2 努力している人が報われる政治**
(頑張っている人が報われる世の中に)
 - 3 本当のことが言える政治**
(将来のために、耳の痛いことが言える政治)
 - 4 政治家が尊敬される政治**
(安心できる政治は、信頼できる政治家から)
 - 5 日本の古き良き故郷を蘇らせる政治**

3 本当のことが 言える政治

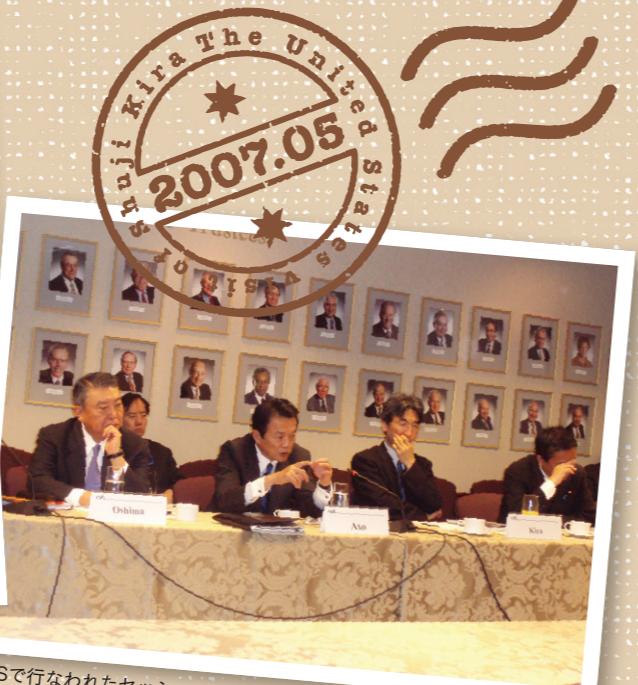
が、まだ現役として頑張っています。皆さんから異口同音に、地区の自治を守るのは大変だということが訴えられます。私も田舎に育つて今も田舎で生活しているのでよくわかります。日本の至るところで、故郷が消えようとしています。団塊世代の退職者が出る時、もう一度、故郷で第二の人生を頑張っていただけないか。という政治をするべきだと思います。その人達を故郷は優しく受け入れる力を持っています。しかし、空気がきれいででも自分の故郷であっても、都會生活の長かった人たちに不便さわまりない生活は無理でしょう。都會に準じる情報、教育、医療をしつかり確立しておかなければなりません。

国会議員に限らず、自治体の首長、議会議員であっても、いわゆる政治家になるには、選挙という関門を通過しなければなりません。選挙に出る以上は勝ちたいですよね。一票でも自分に投票して欲しいと懸命に努力します。でも、ここで大切なのはウソや有権者に心地いいことばかり言って支持を請うことは避けなければならないということです。増してや、選挙を通じ



昨年の訪米以来知遇を得ているアーミテージ元米国務副長官と。今年も昨年同様、CSISにての再会を喜びあう。「KIRAさ~ん！」と、親しみを込めて日本語で呼びかけてくれて、昨年来すっかりお友達の仲です。

CSISで行なわれたセッションの様子。米側の代表と、緊張感のある意見交換が行なわれた。(左から2番目)麻生太郎外相、(外相の左隣)大島理森・元農林水産相、(外相の右隣)吉良州司



**今年も
麻生太郎外相
とともに米国へ
外交安全保障など国の根幹政策は
党派を越えた取組み**

衆議院議員と私の2人、公明党から
1人の計8名の議員団です。

CSISは、1962年に設立され、
200人を超える常勤スタッフを
中心として、外交・安全保障を始め
様々な国際問題についての研究を
しています。上下院の議会で経験者や、
内閣府、外務省などの副長官、次官、
部長、大統領補佐官など政府機関の
重職経験者が共和党、民主党といっ

当大統領補佐官を務めたスコウク
ロフト氏や、カーター政権で国家安
全保障大統領補佐官を務めたブレ
ジンスキー(現ジョンズホプキンス
大学教授)、それに、父フッシュ政権
で米国通商部代表及び通商担当主
席大統領補佐官を務めたヒルズ女
史をはじめ、やはり米国の中核を担
つて いる ま た は 担 つ て い た お 歴々
の講義を受け、また活発に議論もし



ました。日本側も麻生外相や石破元防衛庁長官などプロ中のプロが出席しているので、神経を集中し続けなければならない大変有意義なプログラムです。こういった方々と具体的かつ非常に実践的な議論を重ねることで、日米関係の相互理解を更に深めることができると同時に、個人的には、これまでのビジネスの世界とは違った、政治の世界における国際舞台でのいい経験ができたと思っています。その意味でも、今年も強く参加を要請してくれた麻生太郎外相に感謝しています。



「一貫正義」の男 三輪信昭氏を紹介します！

民主党を野党的体質から脱却する
真の政権担当能力を持つ党にする
使命感に燃える男

三輪信昭氏・プロフィール

昭和17(1942)年 昭和33年4月	11月7日生 三重県立桑名高等学校入学 母の叔父が経営する惣菜屋(サノヤ)で アルバイトを始め、「我が人生は惣菜業」と 確信する。
昭和34年1月 昭和38年2月	丁稚奉公としてサノヤに入社(桑名高校を中退) 四日市(株)岡田屋(現在イオン)入社
昭和43年 昭和46年	自営独立・カネ美食品開業 カネ美食品株式会社設立
昭和57年 昭和58年4月 昭和62年4月	代表取締役就任 愛知県議会議員選挙に出馬。800票差で次点 愛知県議会議員選挙出馬、2位に7,000票差を つけ当選。以後3期連続当選

受 賞	昭和52年 紺綏褒章受賞
役 職	カネ美食品株式会社 顧問 株式会社JPホールディングス顧問 学校法人秋田学園 理事 株式会社兼美 代表取締役
党 務 历	新生党愛知県連 幹事長 新進党愛知県連 副幹事長 自由党愛知県連 幹事長
政治家信条	一貫正義

URL <http://www.miwa-n.jp/>

来る7月に行われる参議院議員選挙は、各都道府県を単位とした選挙区選挙と、全国を選挙区とする比例区選挙の2種類があります。投票の仕方が少し複雑ですので下記にて(図1)ご説明をさせていただきます。

さて、その比例区選挙で党の公認を得ている候補の中には、前回

その中でもみなさんには是非ご紹
介させて戴きたいのが三輪信昭氏
です。三輪氏につきましてはキラ
キラ広報7号でも紹介しましたが、
愛知県で県議を4期務められ、55
年体制崩壊に際して民社党を離党、
以来新生党、新進党、自由党の愛知
県連で幹事長等を歴任してきた重
鎮です。私は「信念や正義が服を着
て歩いているような」三輪さんを
師とも仰ぎ、いろいろと学ばせて
もらっています。

三輪さんは「一貫正義」というス
ローガンを掲げて今、全国を駆け
巡っていますが、この「一貫正義」
は三輪さんにぴったりのスローガン
だと思っています。というのも、

三輪さんが「子孫に借金地獄の日本を残してはならない」と熱く語る姿は、私が常々口にする「生まれたばかりの子供達を借金の連帯保証人にして良いのか」という問題意識と一致します。矢野氏が選挙区における同志であるのと同様三輪氏は比例区において、まさに「同志」であり「師匠」です。三輪信昭氏の当選は、「書生じみた」だとか「同好会」と揶揄されることの多い民主党に、必ずや新しい、そして力強い息吹を吹き込んでくれると確信しています。

三輪さんの「国は社会は人間はかかるべし」という正義観(意図して正義「觀」としてあります)は「動かざること山の如し」だからです。この搖るがざる信念、正義觀は机上ではなく、実戦の中で苦労を重ねて培われたものです。県議になる前には、東海地方有数の食品会社「株式会社カネ美食品」(「カネミ油症事件」の会社とは全く関係がないません)を昭和46(1971)年に創業、以来経営し、JASDAQ市場上場企業にまで育て上げた「たたき上げの創業者」でもあります。

比例区の投票は候補者名で!

皆さん、投票所に行くと2枚の投票用紙を渡されます。1枚には選挙区の候補者の名前を書いて投票を、もう1枚の比例区選挙の投票は①「候補者名」か②「政党名」のいずれかを書いて投票いただくことになっています。

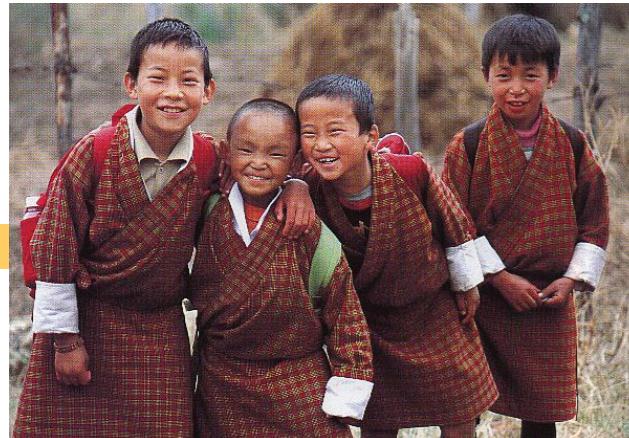
比例区選挙においては、①「候補者名」と②「政党名」の合算票数の多寡によって比例候補の搭載名簿を提出した政党ごとに議席数を振り分け、その後政党に振り分けられた議席の数だけ、①「候補者名」を多く書かれた順に当選者が決定されます。従って、**比例区候補者にとっては自分の名前をたくさん書いてもらわないと当選できない仕組みです。**





『真の豊かさ』を求めて
元世界銀行副総裁
西水美恵子さんとの出会い

①屈託のない笑顔の子供たち。
国民の幸福を追求する政策の
成果は子供たちの表情に
こそ表れるかも知れない。



②ブータンの老女と子供たち。日本にもかつてあった日常を思い起こさせる。

①～③ブータンの写真・出典:(財)日本生態系協会 会報「エコシステム」No.89

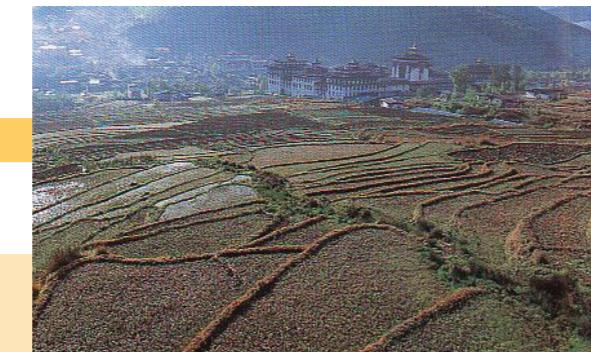
ブータン王国に学ぶ 「真の豊かさ」

吉良州司
の時の彼ら彼女らが、若きクリントンがケネディに会った時のような、そのような出会いになるものと確信をしております。

西水さんがこれからも、悩める日本の若い世代に対して、世界への貢献の素晴らしさ、ブータンではないですが、貧しい国の自然な生き方こそ、日本が学ぶべきであるということを熱く語り続けて戴きたいと思います。

帰国際は、是非また時間を創つてください！再会を楽しみにしております。

これからも末永くご指導を戴きますようお願い致します。



③段々畑の向こうに見えるのは、ブータンの国会議事堂。ここでもかつて日本の原風景がシンクロする。

国民総幸福量について

「国民総幸福量」とは、ブータンの公共哲学です。哲学としては、非常に簡単です。つまり、人間が最も望むことは幸せである。幸せは物質のみでは得ることができない。国民の幸せを考える時に必要なものは、国民を取り巻く家族の和、地域社会の和、それから、人間と大自然との和、そして、国民一人一人が共有可能な歴史、文明、文化であるというものです。ブータンは、経済成長は目的ならず、経済成長は国民が幸せを追求するための手段のひとつであるとはつきり断言しています。

そういう基本的な哲学から始まって、だんだん具体化していきます。

まず、政治とは何か。政治は国民の幸福追求を可能にすることにつきる。国がとる政策の目的は、一人一人の国民が、幸福を追求する時に現れる、公の性質を持つ障害を取り除くことである。それこそが政策の役割であるということです。

哲学としての締めくくりは、国民が幸せか、今幸せでなくとも、幸せを追求できるという満足に満っている国は、安定した国である。だから、ブータンの国家安全保障の源は、国民の幸せにつきるという価値観です。

講演録「ブータン王国に学ぶリーダーシップの形」(西水美恵子氏:学士会会報 No.862)よりほんの一部を抜粋いたしました。講演の論旨を損なわずに要約できたか、心許ないばかりです。ぜひ、ホームページ(<http://www.kirashiji.com/>)にある全文をご覧いただけますようお願いいたします。

そういう国民総幸福量的な哲学から国を治めた場合、政策で何を優先するかが違ってきます。いろいろありますけれども、四つの例を挙げます。一つ目は、環境保護政策がもう四十年前から世界的なレベルにあることです。誰の助けも受けないで、自分たちの力でつくり上げて、実践してきたのです。

二つ目は、行政とは民の視点からなすべきだということです。そうしなければ國が滅びるという考え方からすると、縦割り行政はできないわけです。横割りの行政を常に努力して実践しています。

三つ目は、地方自治体の育成に本当に真剣に取り組んでいることです。上から下ではなくて、必ず下から上へ。それが政治、行政の正しい形だということを叩き込む国です。中央集権型をひっくり返して三十数年間ですから、そろそろ定着して来たのかなと思います。

四つ目は、同じ政策でも目の付け所が違いま

す。例えば、教育政策です。ブータンの教育制度の要は、教師の育成です。教師は、知識を与えるものではなく、生徒の人間としてのロールモデルとなるべきである。教師とは人格者でなければいけないという考え方から始まるのです。数学の教師が教えるマニュアルの第一ページにこう書いてあります。「君は数学を教えるために教壇に立つのではない、ブータンの将来を担う人間をつくるために教壇に立つのだ。それを忘れるな」と。

わずかな例ですが、いろいろな面で他の国とは違っています。ふと見ただけでは見えないけれども、少し掘り下げていくと、とにかく姿勢が違う。目の付け所が違う。内容が違うことに気がつきます。その源は何なのかを考えると、「国民総幸福量」という考え方方が、根本的に浸透しているということに気づきます。

Shuji Kira met Mieko Nishimizu

『真の豊かさ』を求めて
元世界銀行副総裁・西水美恵子さんとの出会い

西水さんと記念の一枚。
今回参加した若者たちは、環境等についての「学生国際会議(※1)」を行なったときに、西水さんからメッセージを受けた間柄。



今年1月、私のホームページに転載された講演録「ブータン王国に学ぶリーダーシップの形」(西水美恵子氏:学士会会報 No.862)を読み、私はブータンの国王のリーダーとしての姿勢、そしてその治世の真髓である国民の幸福追求(「国民総幸福量の追求」)の姿勢が、常々私が訴えてきた「真の豊かさの追求」という考え方と、軌を一にしたものであつたため大変な感銘を受けました。(経済的には)貧しいであろう国が、「真の豊かさとは」「真の幸せとは」について、(経済的には)はるかに豊かなはずの私達に教えてくれるのです。

そして、その講演者であり、私と同じ「真の豊かさとは」ということに大いなる関心を持ち、その「豊かさ」の追求を続けるブータンを紹介してくれた西水さんは、不思議な縁でつながっていることも分

その西水さんと4月末に直接お会いすることが出来ました。西水さんの帰国日程に合わせて、西水さんを慕い憧れる若者たち(学生国際会議の主催者)と一緒に直接お話を伺うことができました。そして、出会いのきっかけとなつたブータン王国のこと、世界銀行の貧困対策や環境対策、日本の若者

への期待など、約1時間半に渡つて親交を深めさせていただきました。実際にお会いして、お会いする前よりもっと、もっと西水さんが



吉良州司が
西水さんへ送ったお礼メール

西水さん

吉良です！

先日は本当にありがとうございました。

西水さんの講演録や本から想像してはいましたが、実際にお会いして、思っていた通り、いやそれ以上に、信念と包容力に満ち溢れていらつしやる、言うならば「優しさの中の毅然」というようなものを感じさせて戴きました。何よりも若い世代に対する愛情が旺盛で、その世代に對して伝えたいことを山のようにお持ちである。そして実際に彼ら彼女らを育てていくことが天から授かった使命であると感じていらっしゃることに感銘を受けました。あ



「真の豊かさ」を求めて

途上国の貧困解消と女性の地位向上のために世界を駆け巡る

元世界銀行副総裁

西水美恵子

さんとの出会い

吉良州司

西水さんへ送ったお礼メール

吉良

への期待など、約1時間半に渡つて親交を深めさせていただきました。実際にお会いして、お会いする前よりもっと、もっと西水さんが

吉良です！

先日は本当にありがとうございました。

西水さんの講演録や本から想像してはいましたが、実際にお会いして、思っていた通り、いやそれ以上に、信念と包容力に満ち溢れていらつしやる、言うならば「優しさの中の毅然」というようなものを感じさせて戴きました。何よりも若い世代に対する愛情が旺盛で、その世代に對して伝えたいことを山のようにお持ちである。そして実際に彼ら彼女らを育てていくことが天から授かった使命であると感じていらっしゃることに感銘を受けました。あ

新世紀日本の創造

真に豊かな日本を目指して

吉良州司 Shuji Kira

★「政治生命を賭けた今参院選への寄付をお願いします」

矢野大和氏に対しては、吉良州司及び民主党大分県連としては全面的な支援を致しておりますが、民主党中央の公認推薦がないため、財源的に大変厳しい運営を余儀なくされます。

私にとっても政治生命を賭けた戦いとなりますが、矢野大和氏、吉良州司への、みなさんの暖かい、力強いご支援を心からお願い申し上げます。

矢野大和宛

○大分銀行 佐伯支店（個人向け）
普通口座/5360640
名 義/矢野大和と笑って元気な故郷つくりの会
代表者 矢野大和

吉良州司宛

○大分銀行 本店（法人向け）
普通口座/6428365
名 義/民主党大分県第1区総支部 代表 吉良州司
○大分銀行 にじが丘出張所（個人向け）
普通口座/5081726
名 義/吉良州司と元気な大分を創る会 代表 吉良州司
○郵便局（個人向け）
記 号/17260 番 号/15330121
名 義/吉良州司と元気な大分を創る会

矢野大和と笑って元気な故郷つくりの会のご紹介

矢野さんの口演を聴いた人からの感想

「必要とされていると思うとうれしくなりました！」

最近わたしは、家族と同居していても、何をしてやれるわけでもなく、やりきれない寂しさを感じていました。そんなとき、お友達に誘われて聴きに行った矢野さんの口演会では、何年ぶりかにおなかを抱えて笑ったのはもちろん、「誰でも必要とされているんだ」というお話を聞き、本当に心強く、うれしく思いました。私のうちのお風呂はガスですが、私にできることを少しずつ見つけていこうと思っています。

(無職・大分市在住/70代女性)

仕事の研修会ではじめて「口演」を聴きましたが、とにかく笑いました。笑いすぎて涙が出てしまったくらいです。仕事柄いろいろな方と接しますが、思えば営業の仲間と一緒にこんなに笑いあつたのは何年ぶりでしょうか。職場に笑いが大事、本当にそう思いました。口演終了後、所長さんに「矢野さんをうちの営業課長さんにしたら？」と言ってしまったくらいです。またぜひ来てほしいです。

(生命保険営業・東京在住/40代女性)



佐伯事務所

〒876-0803
佐伯市駅前1-7-2
TEL 0972-25-1313
FAX 0972-25-1314



大分事務所

〒870-0029
大分市高砂町4-20
TEL 097-533-7722
FAX 097-533-7772



矢野大和事務所、吉良州司事務所ではボランティアを募集しています！ご連絡は各事務所まで



吉良州司と元気な大分を創る会

〒870-0820 大分市西大道2-4-2

TEL 097-545-7777 FAX 097-545-7760

URL <http://www.kirashuji.com/> E-mail kirakira@kuh.biglobe.ne.jp

広報誌についてのご意見、お問い合わせなど、事務局までお寄せください。

